

JIS

工業プロセス用圧力・ 差圧伝送器の試験方法

JIS C 1031-1990

(1996 確認)

(2001 確認)

(2006 確認)

平成 2 年 9 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成2.9.1

確認：平成8.6.1

官報公示：平成8.6.3

原案作成協力者：社団法人日本電気計測器工業会

審議部会：日本工業標準調査会 電気部会（部会長 増田 閃一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 情報電気標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

工業プロセス用圧力・
差圧伝送器の試験方法C 1031-1990
(1996 確認)Methods of evaluating the performance of pressure and
differential pressure transmitters for use in
industrial-process control systems

1. **適用範囲** この規格は、工業プロセスに用いられる圧力・差圧伝送器（以下、伝送器という。）の試験方法について規定する。ここでいう伝送器とは、入力圧力又は差圧を統一信号の出力値に変換し、伝送する直流電源駆動の電子式伝送器又は空気式伝送器である。

備考1. この規格は、伝送器の形式試験を規定するものであり、個別試験については規定しない。

なお、この規格は、伝送器の一般性能についての試験方法を規定するものであって、例えば原子力向けの事故模擬試験のような特殊試験方法については規定しない。

2. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 0155 工業プロセス計測制御用語

JIS C 0920 電気機械器具及び配線材料の防水試験通則

JIS C 1002 電子測定器用語

JIS C 1302 絶縁抵抗計（電池式）

JIS C 1803 工業計器性能表示法通則

JIS Z 8103 計測用語

JIS Z 8115 信頼性用語

JIS Z 8116 自動制御用語（一般）

3. この規格の対応国際規格を、次に示す。

IEC 770 (1984) Methods of evaluating the performance of transmitters for use in industrial-process control systems.

2. **用語の定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS B 0155、JIS C 1002、JIS C 1803、JIS Z 8103、JIS Z 8115及びJIS Z 8116によるほか次による。

- (1) **レンジの下限値** 出力0 %のときの入力値。
- (2) **レンジの上限値** 出力100 %のときの入力値。
- (3) **ゼロ正遷移レンジ** レンジの下限値がマイナス側にあるレンジ（図1参照）。
- (4) **ゼロ負遷移レンジ** レンジの下限値がプラス側にあるレンジ（図1参照）。
- (5) **ヒステリシス** 入力変化の方向性前歴によって生じる同一入力値に対する出力値の差（図2参照）。
- (6) **最大使用圧力** 伝送器受圧部に加えられる圧力で、仕様で定める最大圧力。
- (7) **静圧** 差圧伝送器の高圧側プロセス流体圧力。
- (8) **プロセス接続口** プロセス流体を伝送器の受圧部内部に導くための接続口。